

3. 各学類・研究科におけるFD活動

平成 28 年度 学類・研究科ごとの取組

人間発達文化学類

1. 学類

① FD 研修会

- (1) 教養演習Ⅰ・基礎演習報告会（教育課程委員会）
- (2) 次年度教養演習・基礎演習担当者説明会（教育課程委員会）
- (3) 教養演習Ⅱ報告・意見交換会（教育課程委員会）
- (4) 授業公開および検討会

科目名：教養演習Ⅱ

授業者：白石 豊 先生

日 時：1月19日（木）3時限（13：00～14：30）

② FD 調査

- (1) 「教養演習Ⅰ」「教養演習Ⅱ」「基礎演習」実施概要調べ(教育課程委員会)
- (2) クラス・ゼミにおける学生指導に関する実態調査（学習ポートフォリオ等の使用状況調査を含む）（前期）（教育課程委員会）
- (3) クラス・ゼミにおける学生指導に関する実態調査（学習ポートフォリオ等の使用状況調査を含む）（後期）（教育課程委員会）
- (4) 学習と生活に関するアンケート調査（全学類生対象）（教育課程委員会、将来計画検討委員会、学生生活委員会）

2. 研究科

- (1) 研究発表状況等に関する調査（教育課程委員会）
- (2) 学業の成果および修了研究についての調査（教育課程委員会）

行政政策学類

1. 学類

- (1) アドバイザー教員：学類では少人数教育を重視する観点から、各学年の演習科目の担当教員を「アドバイザー教員」として位置づけ、演習科目の内容に留まらず、必要に応じて、ゼミ生の学生生活全般に関して、対応するようにしている。
- (2) 新入生合宿ガイダンス：教養演習の一環として、入学直後の4月に1泊2日の日程で、1年生全員、担当教員、学生生活委員、学友会が参加する「新入生合宿ガイダンス」を行っている。事前に上級生（シニター）との打ち合わせ、事後に反省会を行い、学生の自主性を尊重した運営を重視している。
- (3) 進路意向調査：1年生に対して、志望理由や将来の職業選択等に関するアンケート調査を学類として実施し、学生の意識や意向の把握に務めている。
- (4) 専攻選択アンケート：2年次からの所属専攻の選択に際し、1年次後期に、将来の職業選択も見据えた専攻選択に関する意識調査を行い、要望集約を行っている。
- (5) 卒業時アンケート：4年生の卒論提出時に合わせて「卒業時アンケート調査」を実施し、行政政策学類での学習・学生生活の実態把握を行っている。
- (6) 法律討論会：FD公開授業およびアクティブラーニング実践の一環として、法学専攻において、専攻入門科目(2年次の演習科目)の共通の企画である「法律討論会」を開催し、その成果を学類の学生論集『嶺風』に掲載している。
- (7) 意見交換会：学友会役員と定例の会議を行い、カリキュラムや学習環境等をめぐる課題に関して意見交換を行っている。また、次年度の時間割編成や授業構成案についても学友会役員から意見聴取を行い、学生の意向の把握に努めている。
- (8) 各種演習に関する懇談会：教養演習(学類)、専攻入門科目(学類)、専門演習(学類・現代教養)、基礎演習(現代教養)の担当教員に「演習に関するアンケート」を実施し、ゼミの運営等につき、工夫した点、問題点、課題などに関して調査を行っている。さらに、回収・集約後、3月に「各種演習に関する懇談会」を実施して意見交換を行い、得られた情報を学類所属教員にフィードバックし共有化を図っている。
- (9) 授業公開・検討会：全学公開の授業公開および検討会を実施した。今年度は、1月12日(木)1時限の授業「刑事裁判法 II」を高橋有紀先生に公開いただき、授業後に参加した教職員で検討会を行った。

2. 研究科

- (1) 新入生および修了生に対するアンケート調査。
- (2) 修了生との懇談会。
- (3) 院生自治会が主体となって実施する修士論文の報告会の支援。

経済経営学類

経済経営学類では、教員各自の責任と努力によって教育の質を改善していくことを前提としたうえで、毎年度、全学で求められている FD 活動と学類としての FD 活動を進めている。それを年度の進行に従って時系列的に列挙すると、以下の通りである。

(1) シラバスの作成と点検

前年度の 2 月に当該年度のシラバスが作成され、公開に向けて全てのシラバスが正しく作成されているかを教務委員が点検する。点検の結果、改善が求められるシラバスについては授業担当者に修正が求められている。これは全学的に定められている手続きである。

AP を選択することにおいて誤解がみられるケースが多かったが、この修正は徹底した。その結果、学類の授業科目については、最終的にほぼ 100% 正しく登録されている。大学院の授業科目については演習の内容を「受講生との相談のうえ決める」という記述にとどまるケースがあった。こうした記述についてもより具体的な説明とすることが必要である旨を教員会議などで意思統一し、こちらもほぼ 100% 正しく登録されている。

15 回の授業各回についてその内容がシラバス上で確定されていることは望ましいとされているし、それを果たしている教員もいる。ただ、セメスター内に授業改善を目的としてその構成を変更することへの強い制約となることに対して懸念をもつ教員もいる。また、シラバス内には授業外の学習を指示する欄がある。この欄に記述があるとしても、教員が学生の授業外の学習を点検し授業の中身に反映させる実践をおこなっているかどうかは、不明である。成績評価の基準の欄でこの授業外の学習を評価対象とするとしている教員もいる。今後の議論が必要である。

(2) 15 回の授業

全学的には「教育改善のための学生アンケート」の中間アンケートがある。しかしこれはあまり積極的には活用されていない。むしろ、出席記録を兼ねたミニットペーパー、フィードバックペーパーを活用して授業のたびに頻繁に学生から質問や感想を募る方法が活用されている。よりインタラクティブな形式の授業では、授業中にワークシートを配布して作業をさせ、そこにおいて学生の意見や質問を出しやすくする工夫も見られる。

(3) 学期末の「教育改善のための学生アンケート」

全学共通のこの取り組みは、担当教員に結果が送付され、この結果を参考に各教員は自らの授業の振り返りを行う。このアンケートが教員の授業改善に活かされていないという学生の不満もきくけれども、最低限の真摯さをもった教員であれば、ふつうは正当な指摘であれば顧みて反省し、翌年度の授業においては改善を心がけるものである。このアンケート結果が「活かされている」か否かは、アンケート結果に基づく改善をアピールするか否かとは別の問題である。「今年度は気をつけよう」という無言の改善は常に行われうる。上記のような不満について思うに、特定の科目を複数年度にわたって複数回受講したうえでこのような不満を述べる学生はほぼ稀であろう。ともあれ、今年度は全学の取り決めに従って昨年度のアンケート結果を踏まえた「フィードバックレポート」が作成され、

それは公表される予定である。

(4) 学類独自のアンケート

学類独自の「自己評価報告書」は毎年刊行されている。この中に2年生向けと卒業生向けアンケートの詳細な結果とそれを受けた担当者の自己評価を掲載する。専攻代表による専攻全体の報告、大学院生の修了アンケートと修士論文中間報告会等に関する指導教員アンケートに基づいた大学院FDの報告も記載されている。

この作業は、学類と研究科全体の教育の質を改善するために学類を挙げた取り組みとして内外から高く評価されている。2年生アンケートは、2年の前期までの教育について、卒業生アンケートは、入学から卒業までの教育についてものである。

「2年生アンケート」は学類が提供する第3セメスター（2年前期）までの専門の基礎教育（リテラシー科目）に関するもので結果の公表では担当教員名は出さない。とはいえ当該年度にリテラシー科目を担当した教員は特定される。これらのアンケートを材料にして毎年年度末に専攻や講座単位で会議を開催し、大学院も含めたFD活動を行っているので、相対的にアンケートの結果が芳しくない科目の担当教員にとっては、精神的負担となっている可能性もある。

各専攻が提供している学類の専門教育の基礎的な科目（リテラシー科目）の担当は、特定の教員には固定せず、相互点検と相互評価を基礎とした集団的担当体制を構築することがそもそもの理念であったし、今後の課題でもある（例外もある）。その体制構築は教員数の制約がますます強まるなかではとりわけ重要となる。担当者の割愛や退職があった場合、後任補充のハードルが極めて高くなっている状況においてはなおさらである。学生のアンケートを基にしたこのFD活動が単なる教員の個人批判になる事なく、教育の質改善の一助となるような評価に対する認識の改善も進めている。

基礎的な科目（リテラシー科目）は、それぞれの専攻に進む全学生を対象とした科目であり、セメスターごとにクラスを指定される必修科目となっている。それぞれは科目間の関連を踏まえて設計されているものでもある。各科目を担当教員個人に任せきりにするのではなく、科目間の授業の連携を強めて、総体としてのリテラシー科目群によって学生の理解度と満足度を高める工夫が求められる所以である。そのために、授業で配布した資料を教員間で回覧することも行われる。

なお、「大学院生の修了アンケート」「学類卒業生アンケート」には、「推薦したい授業科目と担当教員」という質問項目があり、それについては具体的な教員名が公表される。

(5) 成績分布開示

成績開示は、ライブ・キャンパス(LC)上で行われている。このテーマについては、あまり議論にならず関心も見られない。しかしよく見ると各授業で成績分布は様々である。とりわけ、学類のリテラシー科目群の間で成績分布の型が一樣ではない。これは、担当教員の「成績評価」についての認識のずれを反映していると考えられる。このことじたいを超克の対象と考えるかどうかには議論の余地があるが、ともあれ成績分布に対する関心を高めることは重要である。また成績評価基準のありかたをFDの検討課題とすることもありうるだろう。

共生システム理工学類

1. 担当任務

理工 FD 委員会は今年度、3つの任務を行った。(i) 2016 年度 FD 合宿への参加教員の選出、(ii) 学類及び研究科における授業公開を含む FD 活動についての検討である。

2. 任務内容

(i) 当委員会は内海哲史准教授と大橋弘範准教授を選出した。当初、当該合宿の開催日（昨年 9 月 24 日・25 日）について出張時期が重なる懸念があったが、無事参加していただいた。両教員からは『今回の FD 合宿研修会では、福島大学のみならず福島大学などの学生が教員と一緒に参加して、「福島」という地域での教養教育について、グループを作って様々な見地から意見を出し合い議論を行いました。教員だけでなく、学生の方と共に合宿を行ったことで、学生サイドの意見も考慮でき、有意義な議論を行うことができました。その際、新しい授業アンケートの内容について検討もされました。その FD の内容は、新しい授業アンケート作成の重要な指針として、大学側に還元される予定です。』との報告を受けた。

(ii) 理工では、全学共通の取り組みとして、今年度は学類について、中間アンケートのみ実施し、また、昨年度の授業アンケートを各教員にフィードバックして授業改善に対する取り組みのレポート作成を行ってもらっており、これについては現段階では未完である。また、理工学類での授業公開は今年度は実施していない。理由は、理工学類では、H28 年度中に授業公開を含む FD 活動について、まず学類内の体制・役割分担を再検討する予定にしているからである。今後は、来年度以降の全学的な方針に基づいて対応を考えたい。

4. 夜間主（現代教養）コースにおけるFD活動

平成 28 年度 夜間主（現代教養コース）の取組

平成 28 年度現代教養コース卒業時アンケート集計結果

I. あなた自身のことについて伺います。それぞれ、該当する番号に○をつけてください。

・あなたの所属モデルの番号に○をつけてください。

所属モデル	度数	割合 (%)
文化教養モデル	5	8.9%
法政策モデル	8	14.3%
コミュニティ共生モデル	30	53.6%
ビジネス探求モデル	12	21.4%
無回答	1	1.8%

n =56

・あなたの性別について。

性別	度数	割合 (%)
男性	30	53.6%
女性	25	44.6%
無回答	1	1.8%

n =56

・出身高校の所在地について。

出身高校所在地	度数	割合 (%)
福島県内	33	58.9%
福島県外（東北地方）	15	26.8%
それ以外	7	12.5%
無回答	1	1.8%

n =56

・どのような入学試験を受けて入学したかについて。

入試形態	度数	割合 (%)
推薦入試	19	33.9%
社会人特別入試	32	57.1%
編入学・学士入学	4	7.1%
無回答	1	1.8%

n =56

・今後の進路について

今後の進路	度数	割合 (%)
新たに職を求めたい	27	48.2%
福島大学の大学院に進学する	1	1.8%
現在の仕事を続ける	10	17.9%
転職する	7	12.5%
まだわからない	1	1.8%
その他	8	14.3%
無回答	2	3.6%

n = 56

その他の内容

4月就職予定
就職
就職します。
新卒として就職
就職する
4月から、新入社員として働く
内定をもらった企業へ就職

Ⅱ. 大学入学からこれまでにふり返って、お答え下さい。

【1週間の活動時間についてお聞きします。】

・入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。各項目の当てはまる番号にひとつ○をつけてください（4年間の平均として、おおまかな時間をお答え下さい）。

	全然 ない	30分 未満	30分-1 時間	1-2 時間	3-5 時間	6-10 時間	11-15 時間	16-20 時間	20時間 以上	無回答
授業や実験等に出席する	0.0%	0.0%	1.8%	7.1%	14.3%	21.4%	28.6%	14.3%	10.7%	1.8%
授業時間外に予習、復習、宿題をする	3.6%	12.5%	25.0%	17.9%	28.6%	7.1%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%
オフィスアワーなど授業時間外に教員と接する	51.8%	23.2%	10.7%	7.1%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
部活動や同好会に参加する	67.9%	1.8%	1.8%	5.4%	8.9%	5.4%	7.1%	0.0%	1.8%	0.0%
大学外でアルバイトや仕事をする	7.1%	0.0%	1.8%	1.8%	1.8%	10.7%	7.1%	8.9%	60.7%	0.0%
読書をする（マンガ・雑誌を除く）	7.1%	17.9%	30.4%	23.2%	7.1%	5.4%	3.6%	1.8%	1.8%	1.8%
個人的な趣味活動をする	0.0%	3.6%	5.4%	17.9%	32.1%	17.9%	7.1%	5.4%	10.7%	0.0%
就職や資格の取得に関わる勉強をする	17.9%	10.7%	21.4%	10.7%	19.6%	12.5%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%

n = 56

【大学入学後の知識・能力の変化についてお聞きします。】

- ・以下の設問は、約4年間の大学での学習に関して、皆さんにどのような変化があったかを聞くものです。大学入学時と比べて、以下に挙げる「学習態度、力、知識等」は身につきましたか。各項目の当てはまる番号にひとつ○をつけてください。

	かなり 身についた	ある程度は 身についた	あまり 身について いない	全く 身について いない	すでに 入学当時 からある	無回答
授業の重要なところを理解しノートする	26.8%	53.6%	7.1%	0.0%	5.4%	7.1%
図書館等で資料・文献を調べる	30.4%	46.4%	12.5%	1.8%	1.8%	7.1%
パソコンで文書・資料を作成する	44.6%	39.3%	3.6%	1.8%	3.6%	7.1%
インターネットで情報を集める	42.9%	39.3%	3.6%	0.0%	7.1%	7.1%
定められた形式に従ったレポートが書ける	37.5%	41.1%	8.9%	1.8%	3.6%	7.1%
自分の意見と事実を区別して書ける	19.6%	57.1%	12.5%	1.8%	1.8%	7.1%
物事の問題点を見つける	23.2%	58.9%	7.1%	1.8%	1.8%	7.1%
意見や情報を鵜呑みにせず受け止める	21.4%	55.4%	16.1%	0.0%	0.0%	7.1%
科学的・数量的なものごとを見る	3.6%	41.1%	41.1%	5.4%	1.8%	7.1%
自分の意見を筋道立てて表現する	21.4%	44.6%	21.4%	1.8%	3.6%	7.1%
先生や学生仲間にしっかり質問ができる	12.5%	57.1%	19.6%	1.8%	1.8%	7.1%
自分から人間関係をつくる	46.4%	30.4%	8.9%	1.8%	5.4%	7.1%
一般的な教養	39.3%	50.0%	1.8%	0.0%	1.8%	7.1%
多角的・総合的な思考	21.4%	58.9%	10.7%	1.8%	0.0%	7.1%
学問的思考の基礎	17.9%	62.5%	10.7%	1.8%	0.0%	7.1%
健康や運動に関する科学的認識	16.1%	35.7%	33.9%	0.0%	5.4%	8.9%
グローバルな課題への関心	14.3%	53.6%	16.1%	7.1%	1.8%	7.1%
地域的な課題への関心	48.2%	33.9%	7.1%	1.8%	1.8%	7.1%
外国語の能力	0.0%	25.0%	44.6%	19.6%	3.6%	7.1%
異文化の理解	10.7%	51.8%	25.0%	3.6%	1.8%	7.1%
必要な場合のリーダーシップの発揮	12.5%	35.7%	37.5%	5.4%	1.8%	7.1%
プレゼンテーション力	17.9%	42.9%	30.4%	0.0%	1.8%	7.1%
自ら学習する習慣	26.8%	37.5%	23.2%	1.8%	3.6%	7.1%
主体的に学習を計画する力	23.2%	46.4%	16.1%	1.8%	5.4%	7.1%
自らを律して行動できる力	25.0%	50.0%	12.5%	1.8%	3.6%	7.1%
社会人としてのキャリアについての関心と行動	33.9%	48.2%	7.1%	1.8%	1.8%	7.1%
自分の専門に関する知識や理解	28.6%	48.2%	16.1%	0.0%	0.0%	7.1%
世代を超えて人と関わる力	57.1%	23.2%	3.6%	0.0%	1.8%	14.3%

n = 56

【世代を超えた交流の機会についてお聞きします。】

- ・現代教養コースに所属して、世代を超えた学生間での交流の機会がありましたか。

交流の機会	度数	割合 (%)
ひんぱんにあった	21	37.5%
ときどきあった	21	37.5%
あまりなかった	3	5.4%
まったくなかった	1	1.8%
無回答	10	17.9%

n = 56

・その他、世代を超えた交流を通じて得られたことがあれば、自由にご記入下さい。

自身の年代だからこそ、分かること分からないことをお互いに共有し合えることは、人生においても大切な時間になりました。
人生の楽しさを感じられた。
自分では考えつかない意見を聞ける。
様々な方々と会話やつながる事で自分自身の視野が広がった。
年齢層の幅関係なく、自然に話せるようになった。
新卒で就職
自分が不安に感じている事も世代の異なる友人に話すと違った見方をしており、勇気付けられることも多かった。
どんな世代の人でも話せば分かるということが分かった。
同世代同士では思いつかないような発想、発言
社会経験を聞くことによって見識を広げることができた。
多様なモノの見方を常に考えて意見を考えるようになった。
自分たちの世代とはまた違う視点からの意見を聞くことが出来てとても面白かった。社会経験のある方々からの意見はすごく面白かったです。
様々な価値観や人生観を得ることができた。
自分にはない考えや情報を知ることが出来た。
わかってくれるから、仕事のグチや相談がしやすかった。就活のことを教えてもらった。授業の話を沢山聞いたことで、違う視点からの意見を聞くことができた。授業で、親になった経験のある人ということで現教の生徒さんが代表でいろいろ喋ってくれたのはとても実になった。自分は仕事で多忙だけど年上の人たちは多くは仕事を前からやってる人だったから、自分だけ辛いわけではないと思ったので心強かった。現教で良かったって思った。社会知ってる人たちは辛さをよくわかってくれる。

(原文ママ)

5. 共通教育におけるFD活動

平成 28 年度 共通教育における取組

平成 28 年度共通教育アンケート集計結果

I あなたの所属についてお答えください。

学類	26年度	27年度	28年度
人間発達文化学類	202 (31.0%)	169 (27.9%)	167 (25.9%)
行政政策学類	124 (19.0%)	144 (23.8%)	168 (26.0%)
経済経営学類	168 (25.8%)	124 (20.5%)	155 (24.0%)
共生システム理工学類	123 (18.9%)	110 (18.2%)	123 (19.0%)
現代教養コース	35 (5.4%)	58 (9.6%)	33 (5.1%)
計	652	605	646

II それぞれの授業についてうかがいます。自分が受講した授業について回答してください。

1 教養演習について

(1) この授業で「自ら問題を発見し、思考し、知識を追求する姿勢」が身についたと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	22.4%	55.8%	17.9%	3.7%	0.2%
27年度	24.5%	57.0%	14.5%	3.1%	0.8%
28年度	24.1%	57.9%	15.3%	1.2%	1.4%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	23.4%	59.3%	15.6%	0.6%	1.2%
行政政策学類	29.8%	54.8%	14.9%	0.6%	0.0%
経済経営学類	23.2%	58.1%	12.9%	1.3%	4.5%
共生システム理工学類	16.3%	61.0%	19.5%	3.3%	0.0%
現代教養コース	33.3%	54.5%	12.1%	0.0%	0.0%

(2) この授業で、「社会に通用するアクティブな知性（仲間との討論を通じて、自分の考えを表現すること、他人の意見を尊重すること、さまざまな意見を結び合わせて新たな知見を得ること）」を身につけることができたと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	22.1%	55.2%	18.6%	3.2%	0.9%
27年度	24.0%	56.0%	15.7%	3.1%	1.2%
28年度	24.3%	58.8%	13.5%	1.5%	1.9%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	22.8%	61.7%	12.6%	1.2%	1.8%
行政政策学類	28.6%	60.1%	10.7%	0.6%	0.0%
経済経営学類	21.9%	58.1%	12.9%	1.3%	5.8%
共生システム理工学類	19.5%	57.7%	18.7%	4.1%	0.0%
現代教養コース	39.4%	45.5%	15.2%	0.0%	0.0%

- (3) 教養演習では、上記に掲げる姿勢や知性の獲得を目指し、幅広い授業内容が扱われています。また、学生の側からも、大学に馴染む場として高く評価する声が寄せられています。一方、内容について、クラス間の差を少なくし、共通性を高めて欲しいとの学生の要望もあります。

・ クラス間での内容の共通性について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

	高めた方が良い	高めなくて良い	未回答
26年度	46.6%	52.8%	0.6%
27年度	48.1%	50.4%	1.5%
28年度	43.3%	54.3%	2.3%

	高めた方が良い	高めなくて良い	未回答
人間発達文化学類	48.5%	49.1%	2.4%
行政政策学類	33.3%	65.5%	1.2%
経済経営学類	38.7%	55.5%	5.8%
共生システム理工学類	54.5%	45.5%	0.0%
現代教養コース	48.5%	51.5%	0.0%

2 キャリア形成論について

- (1) この授業で、あらためて、これからの人生を考えたりする事ができたと重いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	29.9%	46.8%	18.3%	4.4%	0.6%
27年度	28.3%	55.5%	13.1%	2.5%	0.7%
28年度	28.3%	53.6%	13.6%	2.2%	2.3%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	19.8%	58.1%	17.4%	2.4%	2.4%
行政政策学類	31.5%	50.0%	14.9%	3.0%	0.6%
経済経営学類	26.5%	52.9%	12.9%	2.6%	5.2%
共生システム理工学類	34.1%	52.8%	10.6%	0.8%	1.6%
現代教養コース	42.4%	54.5%	3.0%	0.0%	0.0%

- (2) この授業で、「働く」ということや「職業」について考えることができたと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	35.6%	48.6%	10.9%	4.1%	0.8%
27年度	39.3%	48.3%	9.8%	2.0%	0.7%
28年度	36.4%	50.9%	8.8%	1.7%	2.2%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	32.3%	53.9%	9.6%	2.4%	1.8%
行政政策学類	35.7%	51.8%	9.5%	2.4%	0.6%
経済経営学類	35.5%	50.3%	8.4%	0.6%	5.2%
共生システム理工学類	40.7%	48.0%	8.1%	1.6%	1.6%
現代教養コース	48.5%	45.5%	6.1%	0.0%	0.0%

(3) この授業で、自分自身が「学ぶ」ことやこれからの取組みについて考えることができたと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	26.2%	53.7%	15.2%	3.8%	1.1%
27年度	27.1%	56.9%	13.2%	1.8%	1.0%
28年度	24.6%	56.2%	15.0%	1.5%	2.6%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	23.4%	57.5%	16.2%	1.2%	1.8%
行政政策学類	27.4%	56.0%	13.1%	2.4%	1.2%
経済経営学類	21.9%	52.9%	18.7%	0.6%	5.8%
共生システム理工学類	26.0%	56.1%	13.0%	2.4%	2.4%
現代教養コース	24.2%	66.7%	9.1%	0.0%	0.0%

3 自己学習プログラム（「東日本大震災ボランティア」を除く）について

・ この授業を履修しなかった人にうかがいます。履修しなかったのはなぜですか。

- イ 授業の存在を知らなかった ロ 集団でプログラムを作成することが大変に思えた
 ハ 担当教員を探すことが困難に思えた ニ 他の授業科目の履修などで余裕がない

	イ	ロ	ハ	ニ	その他	未回答
26年度	42.6%	7.2%	1.2%	22.7%	1.8%	24.4%
27年度	35.9%	7.9%	1.3%	29.3%	3.1%	22.5%
28年度	33.7%	9.9%	1.7%	27.2%	1.5%	25.9%

	イ	ロ	ハ	ニ	その他	未回答
人間発達文化学類	34.8%	9.3%	0.2%	29.4%	2.8%	23.6%
行政政策学類	36.7%	9.9%	1.6%	24.3%	1.1%	26.4%
経済経営学類	43.4%	5.6%	1.6%	22.8%	1.6%	25.1%
共生システム理工学類	27.5%	10.7%	3.1%	32.6%	2.0%	24.2%
現代教養コース	58.7%	2.4%	0.8%	15.1%	5.6%	17.5%

4 総合科目・広域選択科目について

(現代教養コースの人は「5 英語の科目について」に進んで下さい)

(1) 総合科目についてお聞きます。

- ・総合科目は、「さまざまな分野での知見やアプローチの仕方を学び、多角的・総合的な思考を学ぶこと」をねらいとしていますが、これらが身に付いたと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	22.9%	56.1%	16.4%	2.9%	1.8%
27年度	23.8%	58.9%	12.8%	2.4%	2.2%
28年度	24.8%	58.9%	12.7%	1.1%	2.4%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	18.6%	66.5%	12.6%	1.2%	1.2%
行政政策学類	31.0%	54.2%	10.1%	1.8%	3.0%
経済経営学類	23.9%	58.7%	12.3%	1.3%	3.9%
共生システム理工学類	26.0%	55.3%	17.1%	0.0%	1.6%

- ・総合科目の開講数は十分だと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	28.8%	47.8%	18.5%	3.4%	1.5%
27年度	28.5%	46.3%	19.2%	3.7%	2.4%
28年度	28.9%	49.4%	16.5%	2.6%	2.6%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	26.9%	54.5%	16.2%	1.2%	1.2%
行政政策学類	26.8%	47.6%	17.3%	4.8%	3.6%
経済経営学類	31.0%	46.5%	16.8%	1.3%	4.5%
共生システム理工学類	31.7%	48.8%	15.4%	3.3%	0.8%

(2) 広域選択科目(人間と文化, 社会と歴史, 自然と技術の3分野の科目)についてお聞きます。

- ・広域選択科目を履修して、現代の学問・文化の成果に対して専門を超えた関心と理解が得られたと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	20.7%	55.8%	18.6%	2.9%	1.9%
27年度	21.4%	55.2%	16.5%	3.7%	3.3%
28年度	25.0%	55.8%	14.2%	2.3%	2.8%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	19.8%	61.1%	16.2%	1.2%	1.8%
行政政策学類	31.0%	52.4%	9.5%	2.4%	4.8%
経済経営学類	25.8%	57.4%	12.3%	1.3%	3.2%
共生システム理工学類	22.8%	51.2%	20.3%	4.9%	0.8%

- ・ 各分野の科目を履修して、それぞれ「学問的な思考の基礎」が身についたと思いますか。

「人間と文化」

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	24.6%	54.8%	16.0%	2.9%	1.6%
27年度	28.7%	52.8%	12.2%	2.6%	3.7%
28年度	27.2%	55.6%	12.6%	1.3%	3.3%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	22.2%	62.9%	10.8%	0.6%	3.6%
行政政策学類	34.5%	47.6%	12.5%	1.8%	3.6%
経済経営学類	26.5%	59.4%	7.7%	2.6%	3.9%
共生システム理工学類	25.2%	52.0%	21.1%	0.0%	1.6%

「社会と歴史」

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	22.2%	52.0%	16.5%	3.7%	5.5%
27年度	28.3%	50.8%	13.7%	2.7%	4.4%
28年度	25.3%	52.5%	14.7%	2.1%	5.4%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	14.4%	59.9%	15.0%	1.2%	9.6%
行政政策学類	35.7%	47.6%	12.5%	0.6%	3.6%
経済経営学類	26.5%	55.5%	11.0%	2.6%	4.5%
共生システム理工学類	24.4%	45.5%	22.0%	4.9%	3.3%

「自然と技術」

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	19.4%	43.1%	24.6%	7.1%	5.7%
27年度	24.3%	44.4%	21.8%	5.1%	4.4%
28年度	22.7%	53.3%	16.6%	2.1%	5.2%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	13.8%	59.9%	15.6%	1.2%	9.6%
行政政策学類	27.4%	47.0%	18.5%	3.6%	3.6%
経済経営学類	20.0%	54.8%	17.4%	3.2%	4.5%
共生システム理工学類	31.7%	51.2%	14.6%	0.0%	2.4%

・ 受講した総合科目・広域選択科目のなかで、他学類の学生と交流する機会がありましたか。

	頻繁にあった	時々あった	あまりなかった	全くなかった	未回答
人間発達文化学類	9.0%	48.5%	29.9%	10.8%	1.8%
行政政策学類	6.0%	37.5%	40.5%	12.5%	3.6%
経済経営学類	14.2%	50.3%	28.4%	5.2%	1.9%
共生システム理工学類	8.9%	60.2%	24.4%	5.7%	0.8%

イ 増えた方がよい ロ どちらかと言えば増えた方がよい
ハ どちらかと言えば増えなくてもよい ニ 増えなくてもよい

	イ	ロ	ハ	ニ	未回答
人間発達文化学類	26.3%	49.1%	12.6%	9.6%	2.4%
行政政策学類	18.5%	45.2%	19.6%	13.7%	3.0%
経済経営学類	27.7%	43.9%	13.5%	12.9%	1.9%
共生システム理工学類	39.0%	39.0%	13.0%	8.1%	0.8%

(1) 英語科目を受けて「外国語リテラシー，コミュニケーション力」を深めることができましたか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	13.2%	52.1%	24.0%	7.8%	3.0%
行政政策学類	15.5%	50.0%	28.0%	4.2%	2.4%
経済経営学類	16.1%	57.4%	21.3%	3.2%	1.9%
共生システム理工学類	12.2%	51.2%	28.5%	7.3%	0.8%
現代教養コース	12.1%	27.3%	36.4%	6.1%	18.2%

(2) シラバスを見て、自分でクラス選択をするというクラス編成の方法についてどのように思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	22.1%	62.3%	10.1%	2.8%	2.8%
27年度	17.7%	65.3%	11.1%	2.1%	3.8%
28年度	20.0%	66.7%	8.2%	2.2%	2.9%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	18.6%	67.7%	9.0%	1.8%	3.0%
行政政策学類	26.2%	60.7%	8.9%	1.2%	3.0%
経済経営学類	16.1%	71.6%	8.4%	1.9%	1.9%
共生システム理工学類	17.1%	69.9%	8.1%	4.1%	0.8%
現代教養コース	24.2%	57.6%	0.0%	3.0%	15.2%

(3) 現代教養コース以外の人に上級・基礎クラスについてうかがいます。

・ 上級・基礎クラスの選択を考えたことはありましたか。

	考えた	少し考えた	考えなかった	知らなかった	未回答
26年度	17.7%	26.9%	51.9%	1.6%	1.9%
27年度	13.2%	26.7%	47.9%	1.6%	10.6%
28年度	12.9%	25.4%	49.1%	1.3%	11.3%

	考えた	少し考えた	考えなかった	知らなかった	未回答
人間発達文化学類	7.2%	16.2%	59.3%	0.6%	16.8%
行政政策学類	12.5%	28.6%	47.0%	2.4%	9.5%
経済経営学類	19.4%	31.6%	39.4%	0.6%	9.0%
共生システム理工学類	13.0%	26.0%	50.4%	1.6%	8.9%

(4) 現代教養コース以外の人に総合英語「英語Ⅰ」と技能別英語「英語Ⅱ」についてうかがいます。

総合英語「英語Ⅰ」と技能別英語「英語Ⅱ」の違いを知っていますか。

	知っている	ある程度 知っている	あまり知らない	知らない	未回答
26年度	2.9%	7.8%	34.4%	28.0%	26.9%
27年度	4.8%	15.5%	43.9%	28.2%	7.7%
28年度	5.5%	22.0%	41.8%	24.1%	6.5%

	知っている	ある程度 知っている	あまり知らない	知らない	未回答
人間発達文化学類	5.4%	21.6%	47.9%	21.0%	4.2%
行政政策学類	4.8%	20.8%	41.1%	26.8%	6.5%
経済経営学類	7.7%	20.6%	37.4%	23.9%	10.3%
共生システム理工学類	4.1%	26.0%	39.8%	25.2%	4.9%

(5) 現代教養コース以外の人にかがいます。

技能別英語（英語AⅡ，BⅡ）の「Reading, Oral, Writing」は意識しましたか。

	とても意識した	意識した	あまり意識しない	意識しない	未回答
26年度	4.2%	16.7%	33.1%	16.5%	29.5%
27年度	4.4%	17.7%	44.1%	19.0%	14.8%
28年度	6.9%	29.0%	36.5%	12.2%	15.3%

	とても意識した	意識した	あまり意識しない	意識しない	未回答
人間発達文化学類	7.8%	29.3%	35.9%	9.0%	18.0%
行政政策学類	5.4%	20.8%	42.9%	20.8%	10.1%
経済経営学類	8.4%	31.0%	30.3%	11.0%	19.4%
共生システム理工学類	5.7%	37.4%	36.6%	6.5%	13.8%

6 英語以外の外国語の科目について

(1) 以下に挙げる外国語科目のうち，1年次に履修したものを選択してください。

	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	韓国朝鮮語	日本語	未回答
26年度	35.4%	15.5%	31.4%	6.9%	5.2%	0.2%	0.5%	4.9%
27年度	26.6%	16.9%	29.3%	6.3%	5.1%	8.8%	0.3%	6.8%
28年度	24.9%	18.3%	29.7%	7.6%	4.5%	9.4%	0.6%	5.0%

	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	韓国朝鮮語	日本語	未回答
人間発達文化学類	24.0%	23.4%	32.9%	5.4%	0.6%	12.6%	0.0%	1.2%
行政政策学類	22.6%	16.1%	35.7%	5.4%	7.1%	8.3%	0.0%	4.8%
経済経営学類	32.3%	8.4%	31.0%	9.0%	7.7%	9.0%	1.3%	1.3%
共生システム理工学類	26.8%	23.6%	23.6%	10.6%	3.3%	9.8%	1.6%	0.8%
現代教養コース	0.0%	30.3%	0.0%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%	57.6%

(2) (1) で選択した外国語について「読む，書く，聞く，話す能力」が身についたと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	12.1%	46.2%	27.5%	9.2%	5.1%
27年度	17.5%	44.0%	25.1%	6.6%	6.8%
28年度	13.8%	51.9%	22.8%	6.8%	4.8%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	15.0%	58.7%	19.2%	6.0%	1.2%
行政政策学類	13.7%	54.2%	20.8%	7.1%	4.2%
経済経営学類	16.1%	49.0%	25.8%	7.7%	1.3%
共生システム理工学類	11.4%	50.4%	30.1%	7.3%	0.8%
現代教養コース	6.1%	24.2%	9.1%	3.0%	57.6%

(3) (1) で選択した外国語を通じて「豊かな世界観, 思考力, 表現力」が身についたと思いますか.

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	14.4%	43.7%	27.9%	9.0%	4.9%
27年度	18.2%	42.8%	24.6%	7.6%	6.8%
28年度	16.9%	45.2%	25.2%	7.6%	5.1%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	20.4%	49.1%	25.1%	4.2%	1.2%
行政政策学類	14.3%	48.2%	25.6%	7.1%	4.8%
経済経営学類	17.4%	42.6%	28.4%	10.3%	1.3%
共生システム理工学類	15.4%	47.2%	25.2%	10.6%	1.6%
現代教養コース	15.2%	15.2%	9.1%	3.0%	57.6%

(4) (1) で選択した外国語について, 中級を履修しましたか (あるいは, いま履修していますか).

	はい	いいえ	未回答
26年度	8.3%	86.3%	5.4%
27年度	14.0%	79.0%	6.9%
28年度	14.4%	80.5%	5.1%

	はい	いいえ	未回答
人間発達文化学類	15.0%	83.8%	1.2%
行政政策学類	19.0%	76.2%	4.8%
経済経営学類	18.1%	80.6%	1.3%
共生システム理工学類	4.1%	93.5%	2.4%
現代教養コース	9.1%	36.4%	54.5%

(5) (4) で「いいえ」を選択した人にうかがいます.

中級を履修しない理由について当てはまるもの全てに○をつけてください (複数回答可).

イ 専門科目と時間が重なる ロ 関心がない ハ 難しそう ニ 英語のほうになじみがある
ホ 実用性がない ヘ 成績が GPA にひびきそう

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	その他
26年度	18.4%	20.4%	41.4%	28.4%	8.1%	9.7%	4.1%
27年度	16.0%	17.2%	36.2%	25.3%	8.4%	8.6%	2.3%
28年度	18.3%	16.9%	39.0%	28.2%	8.4%	8.8%	2.9%

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	その他
人間発達文化学類	32.3%	19.8%	33.5%	29.9%	5.4%	12.0%	3.0%
行政政策学類	10.1%	14.3%	42.3%	32.1%	4.2%	8.9%	2.4%
経済経営学類	5.8%	20.6%	40.0%	29.0%	11.6%	6.5%	3.2%
共生システム理工学類	30.1%	16.3%	44.7%	25.2%	14.6%	8.9%	2.4%
現代教養コース	3.0%	0.0%	24.2%	6.1%	6.1%	3.0%	6.1%

7 情報教育科目について

(1) 共通領域科目「情報処理」について以下のどの科目を履修しましたか。

I 情報リテラシー II 情報関係基礎 III ネットワークとセキュリティ IV プログラミング

	I	II	III	IV	未回答
26年度	58.9%	18.9%	10.1%	7.1%	5.1%
27年度	64.3%	18.5%	7.6%	3.1%	6.4%
28年度	63.3%	19.2%	8.8%	3.9%	4.8%

	I	II	III	IV	未回答
人間発達文化学類	86.8%	8.4%	3.0%	0.0%	1.8%
行政政策学類	58.9%	19.6%	13.7%	3.6%	4.2%
経済経営学類	56.1%	20.6%	12.9%	5.8%	4.5%
共生システム理工学類	49.6%	32.5%	7.3%	8.1%	2.4%
現代教養コース	51.5%	15.2%	0.0%	0.0%	33.3%

(2) それを選んだ理由は何ですか。

イ 内容に興味があった ロ 単位が取りやすそう ハ 友人がそれを選んだ

	イ	ロ	ハ	その他	未回答
26年度	42.6%	37.4%	4.3%	10.0%	5.7%
27年度	39.7%	39.7%	5.1%	8.3%	7.3%
28年度	37.3%	42.4%	6.2%	8.5%	5.6%

	イ	ロ	ハ	その他	未回答
人間発達文化学類	26.9%	49.7%	9.0%	12.0%	2.4%
行政政策学類	38.7%	41.7%	4.2%	9.5%	6.0%
経済経営学類	38.7%	42.6%	5.8%	6.5%	6.5%
共生システム理工学類	46.3%	39.0%	7.3%	5.7%	1.6%
現代教養コース	42.4%	21.2%	0.0%	6.1%	30.3%

(3) 科目の受講を通して知識をより深めることができましたか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	24.7%	52.3%	14.7%	2.3%	6.0%
27年度	22.1%	51.4%	17.5%	1.8%	7.1%
28年度	18.6%	59.3%	14.1%	2.9%	5.1%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	18.6%	61.7%	14.4%	2.4%	3.0%
行政政策学類	19.6%	60.7%	10.1%	4.8%	4.8%
経済経営学類	17.4%	57.4%	16.8%	3.2%	5.2%
共生システム理工学類	19.5%	62.6%	15.4%	1.6%	0.8%
現代教養コース	15.2%	36.4%	15.2%	0.0%	33.3%

(4) 「情報処理」科目は現在必修となっています。このことについて考えを聞かせてください。

イ 必修のままがよい

ロ 高校までに学ぶので必修でなくともよい

	イ	ロ	その他	未回答
26年度	71.0%	21.5%	1.5%	6.0%
27年度	68.9%	21.8%	1.8%	7.4%
28年度	71.7%	20.7%	1.7%	5.9%

	イ	ロ	その他	未回答
人間発達文化学類	77.8%	18.6%	1.8%	1.8%
行政政策学類	66.7%	25.0%	1.8%	6.5%
経済経営学類	68.4%	21.3%	2.6%	7.7%
共生システム理工学類	78.9%	17.9%	0.8%	2.4%
現代教養コース	54.5%	18.2%	0.0%	27.3%

8 健康・運動科目について

(1) 「健康・運動科学実習」(1年次必修)についてうかがいます。

- ・授業を通じて、身体リテラシー(健康の維持増進や豊かな社会生活を送るための手段として身体活動を捉え、且つ実践していく能力)を深めることができたと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	34.5%	46.5%	14.0%	2.9%	2.1%
27年度	35.7%	41.8%	16.5%	3.6%	2.3%
28年度	37.6%	45.5%	12.1%	2.6%	2.2%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	35.3%	49.1%	12.6%	1.8%	1.2%
行政政策学類	29.8%	46.4%	14.3%	5.4%	4.2%
経済経営学類	43.2%	41.3%	11.6%	1.3%	2.6%
共生システム理工学類	39.8%	48.0%	10.6%	0.8%	0.8%
現代教養コース	54.5%	33.3%	6.1%	6.1%	0.0%

- ・授業を通じて、スポーツに対する興味や関心が高まったと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	35.6%	35.7%	21.0%	5.4%	2.3%
27年度	35.2%	38.5%	18.2%	5.6%	2.5%
28年度	36.7%	37.5%	18.6%	5.1%	2.2%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	38.9%	38.9%	16.2%	4.8%	1.2%
行政政策学類	26.2%	38.7%	22.0%	8.9%	4.2%
経済経営学類	34.8%	36.1%	23.2%	3.2%	2.6%
共生システム理工学類	44.7%	37.4%	14.6%	2.4%	0.8%
現代教養コース	57.6%	30.3%	6.1%	6.1%	0.0%

- ・ 種目を選択するにあたって、興味のわく種目が用意されているように思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	32.2%	43.3%	17.0%	5.1%	2.5%
27年度	34.0%	42.8%	15.4%	5.0%	2.8%
28年度	34.1%	42.9%	16.3%	4.6%	2.2%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	35.9%	45.5%	12.6%	4.8%	1.2%
行政政策学類	28.0%	42.3%	17.9%	7.7%	4.2%
経済経営学類	32.9%	43.2%	19.4%	1.9%	2.6%
共生システム理工学類	40.7%	42.3%	13.0%	3.3%	0.8%
現代教養コース	36.4%	33.3%	24.2%	6.1%	0.0%

(2) 「スポーツ実習」(2年次以上の自由選択)についてうかがいます。

- ・ あなたは「スポーツ実習」を履修しましたか(あるいは、いま履修していますか)。

	はい	いいえ	未回答
26年度	10.1%	86.5%	3.4%
27年度	9.9%	85.3%	4.8%
28年度	10.4%	84.5%	5.1%

	はい	いいえ	未回答
人間発達文化学類	13.2%	82.6%	4.2%
行政政策学類	12.5%	79.8%	7.7%
経済経営学類	9.0%	87.1%	3.9%
共生システム理工学類	5.7%	89.4%	4.9%
現代教養コース	9.1%	87.9%	3.0%

- ・ 上記の質問で「いいえ」を選択した人にうかがいます。「スポーツ実習」を履修しない理由について、当てはまるもの全てに○をつけてください(複数回答可)。

イ 専門科目と時間が重なる ロ 関心がない ハ 難しそう ニ 興味のある種目がない
ホ 実用性がない ヘ 成績が GPA にひびきそう

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	その他
26年度	30.5%	35.3%	11.5%	9.2%	6.6%	4.9%	5.5%
27年度	31.7%	28.4%	9.4%	11.1%	6.3%	5.8%	6.3%
28年度	27.9%	34.5%	11.5%	11.6%	6.2%	5.1%	5.6%

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	その他
人間発達文化学類	34.7%	35.3%	18.6%	7.2%	5.4%	6.6%	4.2%
行政政策学類	17.3%	36.3%	10.7%	16.7%	6.0%	2.4%	10.7%
経済経営学類	23.2%	38.1%	8.4%	12.9%	7.1%	2.6%	1.9%
共生システム理工学類	39.0%	30.1%	5.7%	9.8%	7.3%	10.6%	4.1%
現代教養コース	27.3%	21.2%	15.2%	9.1%	3.0%	3.0%	9.1%

Ⅲ 教務システムや学修環境についてうかがいます。

1 総合科目と広域選択科目の履修手続き（抽選登録）についてうかがいます。

- ・ライブキャンパスでは抽選登録として第3希望まで登録可能です。総合科目と広域選択科目について、希望する科目・分野の履修はできていますか。

	できている	ほとんど できている	あまり できていない	全く できていない	未回答
26年度	45.1%	41.1%	7.7%	2.1%	4.0%
27年度	37.5%	48.9%	8.1%	1.5%	4.0%
28年度	53.3%	39.5%	3.6%	0.2%	3.6%

	できている	ほとんど できている	あまり できていない	全く できていない	未回答
人間発達文化学類	57.5%	38.3%	0.6%	0.6%	3.0%
行政政策学類	53.6%	38.1%	3.0%	0.0%	5.4%
経済経営学類	56.1%	40.6%	1.9%	0.0%	1.3%
共生システム理工学類	50.4%	41.5%	8.1%	0.0%	0.0%
現代教養コース	27.3%	39.4%	12.1%	0.0%	21.2%

2 シラバスについてうかがいます。

(1) 履修登録の際にシラバスを読みましたか。

	読んだ	ある程度読んだ	あまり 読まなかった	全く 読まなかった	未回答
27年度	49.1%	42.0%	6.8%	0.7%	1.5%
28年度	51.4%	41.3%	5.3%	0.5%	1.5%

	読んだ	ある程度読んだ	あまり 読まなかった	全く 読まなかった	未回答
人間発達文化学類	46.7%	46.7%	4.2%	0.0%	2.4%
行政政策学類	46.4%	47.6%	3.6%	0.6%	1.8%
経済経営学類	53.5%	36.1%	7.7%	1.3%	1.3%
共生システム理工学類	58.5%	35.8%	4.9%	0.0%	0.8%
現代教養コース	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%

(2) シラバスは履修登録や受講の際に役立ったと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	49.5%	37.6%	9.7%	1.4%	1.8%
27年度	50.9%	38.5%	8.1%	0.8%	1.7%
28年度	52.5%	39.2%	6.0%	0.8%	1.5%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	50.3%	44.9%	2.4%	0.0%	2.4%
行政政策学類	53.0%	37.5%	7.1%	0.6%	1.8%
経済経営学類	45.2%	43.9%	7.7%	1.9%	1.3%
共生システム理工学類	67.5%	26.8%	4.1%	0.8%	0.8%
現代教養コース	39.4%	42.4%	18.2%	0.0%	0.0%

(3) シラバスの内容に沿った授業が行われていると思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	18.7%	56.9%	19.2%	3.5%	1.7%
27年度	19.3%	59.7%	17.5%	1.8%	1.7%
28年度	20.6%	61.3%	15.2%	1.4%	1.5%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	15.6%	65.3%	15.6%	1.2%	2.4%
行政政策学類	22.6%	59.5%	15.5%	0.6%	1.8%
経済経営学類	17.4%	63.2%	15.5%	2.6%	1.3%
共生システム理工学類	28.5%	56.1%	13.0%	1.6%	0.8%
現代教養コース	21.2%	60.6%	18.2%	0.0%	0.0%

(4) シラバスの成績基準に沿った成績評価が行われていると思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	25.9%	60.7%	10.0%	1.4%	2.0%
27年度	28.3%	57.5%	11.1%	1.3%	1.8%
28年度	31.4%	55.4%	9.9%	1.5%	1.7%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	28.7%	58.1%	9.6%	1.2%	2.4%
行政政策学類	31.5%	55.4%	9.5%	1.8%	1.8%
経済経営学類	31.0%	58.1%	7.7%	1.9%	1.3%
共生システム理工学類	35.0%	51.2%	10.6%	1.6%	1.6%
現代教養コース	33.3%	45.5%	21.2%	0.0%	0.0%

3 「教育改善のための学生アンケート」(授業アンケート) についてうかがいます。

・ 福島大学では、現在、各セメスター末に紙媒体で実施している授業アンケートについて、WEB アンケートへの移行を検討しています。あなたは、授業アンケートの WEB 化に賛成ですか。

イ 賛成 ロ どちらかと言えば賛成 ハ どちらかと言えば反対 ニ 反対

	イ	ロ	ハ	ニ	未回答
26年度	27.5%	47.2%	16.7%	6.6%	2.0%
27年度	27.8%	48.9%	16.5%	5.0%	1.8%
28年度	29.6%	46.3%	15.8%	6.0%	2.3%

	イ	ロ	ハ	ニ	未回答
人間発達文化学類	22.8%	43.7%	22.2%	9.0%	2.4%
行政政策学類	33.9%	44.0%	13.7%	6.0%	2.4%
経済経営学類	29.0%	51.0%	12.3%	4.5%	3.2%
共生システム理工学類	35.0%	46.3%	13.0%	4.1%	1.6%
現代教養コース	24.2%	48.5%	21.2%	6.1%	0.0%

4 授業時間外での教員との交流機会についてうかがいます。

・ 授業時間外で教員と交流する機会は、どのくらいありましたか。

イ ひんぱんにあった ロ ときどきあった ハ あまりなかった ニ まったくなかった

	イ	ロ	ハ	ニ	未回答
26年度	5.4%	26.8%	45.6%	20.1%	2.1%
27年度	4.8%	27.3%	42.8%	23.5%	1.7%
28年度	5.0%	31.6%	42.9%	18.6%	2.0%

	イ	ロ	ハ	ニ	未回答
人間発達文化学類	6.0%	43.1%	41.3%	6.0%	3.6%
行政政策学類	3.6%	22.6%	45.2%	26.2%	2.4%
経済経営学類	8.4%	31.6%	39.4%	19.4%	1.3%
共生システム理工学類	2.4%	27.6%	47.2%	22.0%	0.8%
現代教養コース	0.0%	33.3%	39.4%	27.3%	0.0%

・ 1～2年次で、授業時間外に教員と交流する機会は、増えた方がよいと思いますか。

イ 増えた方がよい ロ どちらかと言えば増えた方がよい
ハ どちらかと言えば増えなくてもよい ニ 増えなくてもよい

	イ	ロ	ハ	ニ	未回答
26年度	26.4%	46.9%	12.7%	11.2%	2.8%
27年度	25.8%	46.1%	13.7%	12.7%	1.7%
28年度	26.6%	48.5%	14.6%	8.4%	2.0%

	イ	ロ	ハ	ニ	未回答
人間発達文化学類	28.1%	45.5%	15.6%	7.8%	3.0%
行政政策学類	20.8%	48.8%	14.9%	13.1%	2.4%
経済経営学類	23.2%	50.3%	16.1%	8.4%	1.9%
共生システム理工学類	37.4%	49.6%	8.1%	4.1%	0.8%
現代教養コース	24.2%	48.5%	24.2%	3.0%	0.0%

IV 最後に、福島大学における今後の共通教育の充実に向けて、ご意見をお聞かせください。

□ 福島大学では、共通教育の充実作のひとつとして、「高年次教養教育」の導入を検討しています。

・ このような「高年次教養教育」が導入された場合、受講してみたいと思いますか。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
26年度	16.4%	44.9%	27.1%	9.2%	2.3%
27年度	16.2%	45.6%	26.8%	8.9%	2.5%
28年度	16.4%	48.6%	27.1%	5.6%	2.3%

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答
人間発達文化学類	17.4%	49.7%	23.4%	6.6%	3.0%
行政政策学類	15.5%	48.8%	28.0%	5.4%	2.4%
経済経営学類	14.8%	45.8%	32.3%	5.2%	1.9%
共生システム理工学類	16.3%	50.4%	26.8%	4.9%	1.6%
現代教養コース	24.2%	48.5%	18.2%	6.1%	3.0%



平成 28 年度（2016 年度）

福島大学 FD 活動報告書

～大学教育改善の追求～

2017 年 3 月

編 集 福島大学教育企画委員会
発 行 福島大学
